

論文審査の結果の要旨および担当者

報告番号	※	第	号
------	---	---	---

氏 名 金京

論文題目

アイスランドにおける中国系移民コミュニティの形成と発展
—新しい経済活動によるネットワークの変遷に着目して—
(The Formation and Development of the Chinese Migrant Community
in Iceland: The Transformation of Their Networks due to
New Economic Activities)

論文審査担当者

主査	名古屋大学	教授	SAVELIEV Igor
委員	名古屋大学	教授	内田綾子
委員	名古屋大学	准教授	坂部晶子

論文審査の結果の要旨

1. 本論文の構成と概要

金京氏の博士論文は、1980年代から今日に至るまでのアイスランドにおける中国系移民コミュニティの形成、発展と近年の観光事業による変遷を解明したものである。近年、ヨーロッパにおける華僑華人の研究が増えているが、アイスランドの中国系移民に関する先行研究はほとんど存在していない。そのため申請者は一年間にわたって現地調査を実施し、文化人類学的分析手法を用いて、中国系移民の語りなどのデータを詳細に分析し、それに基づいて、そのコミュニティの形成および変遷の特徴を究明した。

本論文は序章と終章を併せて五つの章から構成されている。まず序章では、研究背景とともに先行研究、研究目的と研究方法を述べ、アイスランドにおける中国系移民へのアプローチの重要性を提示している。第一章では、1980年代末から2020年に至るまでのアイスランドにおける中国系移民の移住史を大きく二つの時期に分けて概観し、在留中国系移民の多様な移住パターンと特徴を究明し、詳細に集団の生活空間を描き出している。第一期には中国政府の「体育外交」の担い手であるスポーツコーチと、公費留学生がアイスランドに渡り、その後彼らと親戚がアイスランドに紐帯の弱い雑居型コミュニティの基盤を築いた。2000年代後半から始まった第二期には、アイスランド政府が外国人受け入れ政策を厳格化したことに影響され、同国に渡った中国人がより多様な経緯で移住し、アイスランド人と結婚する女性および中華料理店に就職する調理人が大きな割合を占めるようになった。その結果、中国系移民がより多様な集団になり、2010年代における観光業への参入によってさらに変容したと言える。

第二章では、中国系移民のナラティブの分析に基づいて、彼らの居住形態を究明し、雑居型コミュニティの特徴と各時期に形成された社会的ネットワークの特質を分析し、そのコミュニティの形成過程を明らかにした。中国系移民は、1995年に「アイスランド華人華僑協会」を設立し、第二世代向けの中国語教室を運営しはじめ、彼らの団結力を強める新聞『氷花』を刊行して、エスニック集団構成員向けの催し物を開催していた。第二章の後半では、情報化社会の影響により誕生したWeChatのグループおよび観光業での新たな活動が如何に集団構成員の人間関係構造を再編したのかを究明し、その構造のモデル化を試み、「アイスランド中国ガイド協会」の設立と役割について明らかにしている。

第三章では、アイスランドにおける観光業の発展が中国系移民に与える影響を分析している。2010年代には、経済の急成長を遂げた中国での国外観光が著しく拡大したと同時に、アイスランド政府は観光業の発展を経済復活の主軸にしていた。中国人観光客の著しい増加は、中国語母語話者の雇用機会を生み出し、観光業における中国系移民の自営業と雇用を促し、彼らの社会的ネットワークの再編と重層化をもたらした。中国系移民の人間関係構造は、彼らが観光業に参入することにより、より複雑、かつ強くなり、彼らの連帯感は一層高まったと考えられる。

以上、本論文は、アイスランドにおける中国系移民社会が小規模であったため、中国の経済成長

論文審査の結果の要旨

によって生まれた観光市場での新たな経済活動により、彼らが協力関係を強め、ネットワークを再編成し、エスニックな連帯を強化し、中国とアイスランドの観光市場を連結させる役割を果たすようになったことを明らかにするものである。

2. 本論文の評価

本論文の貢献として以下のような点が認められた。

(1) 第一の貢献は、華僑華人研究の著書、論文は相当な数量におよぶが、本論文は初めて本格的にアイスランドの中国系移民を研究対象に据え、そのコミュニティの形成過程、変遷と現状について検証したことである。

(2) 第二には、アイスランドにおける中国系移民の生活空間、人間関係構造および組織の分析は着実であり、中国人移民研究に貢献している。

(3) 第三には、本論文がアイスランドの中国系移民コミュニティがいかに小さな人的ネットワークから誕生し、発展したのかを明らかにするものであり、ネットワーク型コミュニティ論に貢献している。

(4) 第四には、中国経済の急成長によるグローバルなインパクトの一つである観光業の発展が北欧の小国であるアイスランドとその国における中国系移民社会に如何なる影響を与え、その影響が如何に中国系移民の社会的ネットワークを重層化させたのかを明らかにしている。本論文の分析は、グローバルな現象と小国の小さな移民コミュニティとの関係性を究明することにより、国際社会における変化の一面を描き出していると考えられる。

(5) 第五には、アイスランドの中国系移民コミュニティは、小規模である点で他国の華僑華人社会と異なり、その特徴ゆえに構成員の新たな経済活動への取り組みが他の中国系移民コミュニティと比べ、エスニック・ネットワークの構造を大きく変化させてきたことを究明している。

一方で、以下のような将来に向けての改善点も指摘された。

(1) 本論文の主要な対象であるアイスランドにおける中国系移民社会の分析には新たな知見の提示がなされているが、これらに加え更なる質的考察を深めていくことによって、華僑華人研究における

論文審査の結果の要旨

アイスランドの事例の意義をより明確化し、さらにその分野に貢献することが期待される。

(2) 本論文で検討されたアイスランドの中国系移民社会内の各集団、たとえば、国際結婚をした女性移住者という範疇の移民は、如何なる特徴をもっているのか、主要なコミュニティから孤立しているのかを究明することが期待される。

(3) アイスランドにおける中国系移民の定住および再移住の多様性をより深く究明し、中国への帰還およびヨーロッパ他国への再移住に関しても分析を行うことが期待される。

しかし、これらの指摘は、今後研究をいっそう発展させるための課題であり、本論文は博士論文として十分に評価できるものである。

3. 評価結果の判定

上記3名の委員からなる審査委員会は、2022年1月28日、本審査委員会を開催し、本論文は、オリジナルな成果を含んでいることなどを確認・評価し、博士（学術）の学位に値するものと判断する。